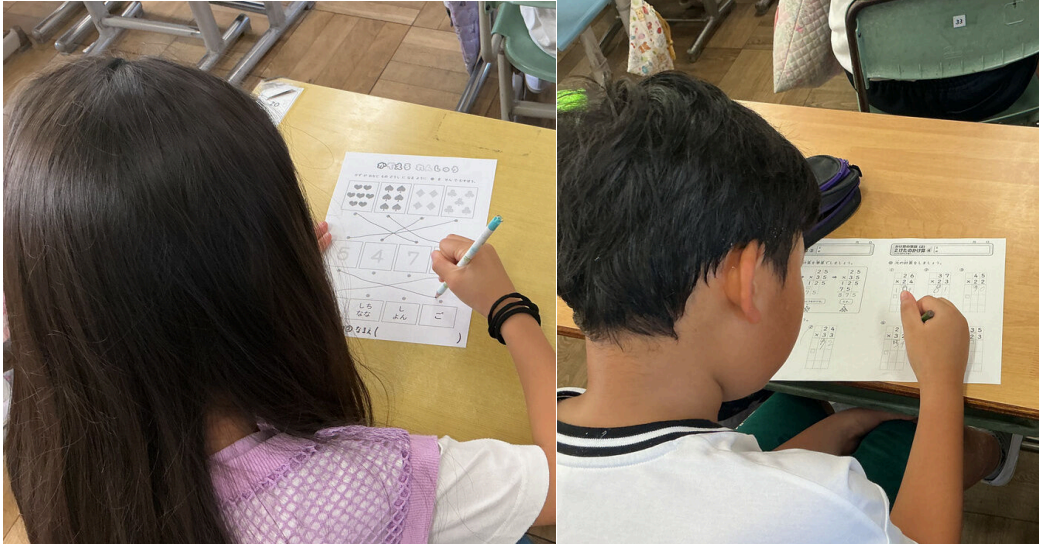


くすのき小学校だより

四條畷市立くすのき小学校 校長 花岡 純



学校HPの二次元コード



望ましい食習慣を身につけて

学童期から望ましい食習慣を身に付けることは健康づくりの基本。

- ・自らメニューを考えることにより食への関心を高める。
- ・朝食をとることで、早ね早起きなどの生活リズムをととのえ、児童の基本的な生活習慣の育成につなげる。

2年に1度、四條畷市保健センターが実施している朝食メニューコンテストに、食育の一環として、5・6年生が応募しました。今年度も、お家の人の協力も得ながら、多くの子どもたちが参加し、工夫をこらしたメニューを考えました。

- ・あっさりめのキーマカレーにするため、かくし味にケチャップを入れた
- ・枝豆とコーンを入れて食感といろどりにこだわったポテサラおにぎり
- ・水分とカリウムで体を冷やして熱中症や夏バテ対策になるトマトを使ったピザトースト
- ・トマトの旨み生かして野菜をたっぷり食べられる具だくさんのみそ汁

季節に合わせて、味や食感にこだわったりして、工夫したメニューがたくさんありました。今後、応募された中から審査を受けて、表彰につながるメニューもあるかと思います（前コンテストでは、くすのき小児童のメニューが表彰されていました。）が、コンテストに参加した一人ひとりが、工夫して取り組み、栄養のこと、健康のこと、早く作れること等を感じられたことに意味があると思います。

協力いただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。

毎週、木曜日の朝学習で、計算力を高める取り組みを学校全体で進めています。数の概念の理解、小数のかけ算等学年の実態に合わせて、基本的な計算力をつけて、今の学習や今後の学習の基礎につなげていきます。

小さなことを続けていきたいですね。

目標を決めて主体的に

児童会活動で毎月、「月目標」を決めて、よりよい学校生活を送れるよう全校児童に呼びかけています。9月は「チャイム着席」です。守れる人がもっと増えるようにと思って、目標を決めましたと代表委員さんが話していました。みんなで意識できるといいですね。



四條畷市教育フォーラムにて

朝のあいさつをする、安全対策として黄帽をかぶって登下校する、自主学習として家庭学習に取り組む、学校の清掃活動をがんばる

8月27日、四條畷市の教職員の学びを深める教育フォーラムで、先生、先生がくすのき小学校の子どもたちの様子を報告をしてきました。各学級で子どもたちにこんな姿になってほしい、委員会活動でこんなことを頑張ってもらいたいと呼びかけ、くすのき小学校のみんなの強み“素直さ”から、日に日に良くなっていく様子がみられて、とても嬉しい気持ちになります。

子どもたちに望ましい行動を示して、ポジティブな声かけを返すことで、またやってみようという好循環が生まれます。それ続けて、習慣化していくことをめざしています。

四條畷市では、このポジティブ行動支援（PBS）という考え方に沿って、子どもたちに指導支援していく取組を市全体で行っています。くすのき小学校は、大学の先生の指導助言をいただきながら、四條畷市の推進校として、学校におけるWell（よい）-Being（状態）の実現に向けて、取り組んでいるところです。

字は体をなす

1学期終業式、こどもたちに、字をていねいに書くことを頑張ってもらいたいという話をしました。

「字は体をなす」という言葉があります。書いた文字を見れば、その人の性格や心がまえ、からだの状態までわかるという意味のことわざです。ここでの「体」は、その人の姿や性格、気持ちのことを表しています。

ていねいに書かれた字は、落ち着いていて、しっかりした性格や「大切に伝えよう」という思いが伝わります。一方で雑に書かれた字は、あわてていたり、集中していなかったりする気持ちがそのまま字に出てしまいます。

心や体がシャキッとしていると字もきれいに整います。だからこそ「心がこもった読みやすい字を書くことが大切だよ」と教えてくれる言葉なんです。

先日、ある先生から「校長先生、みんなとてもていねいに漢字の練習をしてきてるんです」と話してくれました。ゆっくり、濃くて、太い字で練習しているノートがたくさんあって、子どもたちの頑張りを知ることができました。

どこかのタイミングで、「よし、今日から」と意識して、ていねいに書くということを心がけていけるといいですね。



万が一に備えて

火災等非常時の対応について、教職員で研修をしました。

救助袋や消火栓の使い方、置いてある場所の確認をしました。平日頃から注意、点検が必要ですが、万が一に備えられるように改めて学ぶ機会をもちました。

